

平成24年度 事業報告

平成24年度の我が国の経済は、衆議院総選挙を経て新たに発足した安倍政権の下、政府は日本経済の再生に向けての「大胆な金融政策、機動的な財政政策及び民間投資を喚起する成長戦略の『三本の矢』で長引く円高、デフレ不況から脱却し、雇用や所得の拡大を目指す」政策を実施しました。その結果、円安・株高が進行し明るい雰囲気となりました。

昨年10月には「ぎふ清流国体」が開催され、下呂市にも成年女子ハンドボールと少年男子ソフトボールの選手役員及びご家族の皆様など多くの方々にお越しいただきました。

こうした経過を経て、平成24年度の下呂温泉宿泊客は1,015,276人、前年度対比101.1%となり100万人を上回ることができました。これも偏に関係各位のご尽力のおかげと感謝いたします。

下呂温泉観光協会全体での主な事業内容としては、宿泊客の増加を目指し即効的な誘客対策と、将来に向けての人材育成や魅力ある観光地づくりを進めると共に、地域での観光コーディネーターの役割が重要であることを鑑み、岐阜の宝ものや魅力を生かした提案、様々な手段やパブリシティでの情報発信など誘致宣伝事業を連携し進めたこと、「MICE」によるコンベンションを様々なチャンネルで誘致するように努めて参りました。

誘致宣伝委員会としては、県及び観光連盟が主管する東海地方を重点的に行ったキャンペーンに、協会を始め下呂市観光協会連絡協議会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市が一体となり、すべて参画したことや、西日本方面の福岡、広島、岡山、大阪に出かけたキャラバン、関東方面の東京、栃木、埼玉、静岡、北陸方面の金沢などにも出向きキャラバンを行ない誘客に努めて参りました。参加して頂いた皆様方には重ねて感謝申し上げます。

おもてなし委員会では恒例の「いでゆ夜市」、「花火ミュージカル冬公演」、「下呂温泉花火物語」など市や関係団体との連携を進めると共に、また、最近特に増えてきた若者の街歩きなどのニーズへの対応をして参りました。

まちづくり委員会では植樹・清掃活動などの環境整備事業や、近隣観光地との連携を深め連泊できる魅力ある観光地づくりを目指し、おもてなしの向上を図って参りました。

交流研修委員会では高山本線強化促進、研修事業としての「車上セミナー」の実施、また本年度は加賀温泉郷の外湯を視察研修しました。

下呂市には何が必要であるか、今後色々視察研修を重ねながら、他団体とも連携し研究を進めて参りたいと考えます。

インバンド対策では、下呂温泉ではまだまだ少ない外国人誘客のための招致事業や観光展への参加など積極的に進め、さらに韓国、台湾にも出向き、誘客を計って参りました。

その他、飛騨の連携、岐阜、郡上の連携、中津川との連携など広域的な連携を深め、今後の観光の在り方など、共通の課題として捉え取り組んで参りました。

課題としては、JR大阪駅からの増発、高山本線富山行き特急の運行本数増加など、重要な課題の解決がなされないままとなっており、早期に解決できるよう力を注がなければならないと考えております。

以上、各種事業に対しまして、ご協力いただきました皆様に感謝申しあげ報告とさせていただきます。